

そのフリーWi-Fi ホントに安全？

夏休み期間中は、いつも以上に家族や友だちと遠出する機会が増える時期です。

出かけた先のお店や観光名所などのフリーWi-Fiを、特に何も考えずに使用していませんか？
あなたが利用しようと思ったフリーWi-Fi、実は誰かが悪意を持って設置したものかもしれません…。

どんなWi-Fiが危険なのか

なりすましWi-Fi

ショッピングモールや観光名所などでは、フリーWi-Fiと似た名前の「なりすましWi-Fi」が置かれていることがあります。なりすましWi-Fiに接続すると、偽サイトに誘導され不正なソフトウェアをダウンロードさせられたり、通信内容を盗聴されたりする可能性があります。

(例)正しいWi-Fi
Fukuoka-patrol



(例)なりすましWi-Fi
FukuOk-patrOI

暗号化されていないWi-Fi

暗号化とは、インターネットのメッセージや写真を盗み見されづらくするためのものです。暗号化されていないWi-Fiを利用すると、Wi-Fiを利用した人の写真やメッセージを、Wi-Fiを設置した人に盗み見られる可能性があります。



何に気をつけたら良いのか

正しい名前かを確認！

施設のWi-Fiについての案内をしっかりと確認し、正しいWi-Fi名かどうか確認しながらWi-Fiに接続しましょう！



暗号化されているか確認！

Wi-Fi情報に「WPA」「WPA2」「WPA3」とあるものは暗号化されているWi-Fiです。接続しようとしているWi-Fiが暗号化されているかどうか、しっかり確認しましょう！



自動接続をOFFにする！

Wi-Fiの自動接続をオンにしていると、なりすましWi-Fiや暗号化されていないWi-Fiに勝手に接続してしまうかもしれません。自動接続はオフにして、その都度自分で判断してWi-Fiに接続するようにしましょう！



個人情報を入力しない！

たとえ暗号化されているWi-Fiだったとしても、アカウント登録をしたり、IDやパスワードの入力が必要なサイトを閲覧したり、個人情報を入力したりするような作業はしないようにしましょう！



安全なWi-Fi利用で自分自身の情報を守りましょう。